

学校と家庭・地域をつなぐ学校だより

# はぐくみ



令和6年  
6月11日  
第9号  
松葉小学校

## 専門家から学ぼう～出前授業～

### 3年 リコーダー講習会

6月3日に、リコーダー講習会を行いました。3年生は、初めてリコーダー演奏に取り組む学年なので、その基礎的な吹き方を教わりました。「息の出し方はシャボン玉を作るときのように」、「『トゥ、トゥ』と吹くとよい」などのアドバイスを講師の先生からいただきました。

子どもたちは、講師の先生の奏でる演奏にも興味津々でした。吹き方を少し変えるだけで、美しい音楽になることを実感しました。3年生が、美しい音色でリコーダー演奏をするのを楽しみにしています。



<子どもからの意見を交えての講習会でした>

## 命の尊さについて考える

6月18日は豊橋・学校のいのちの日です。命の尊さについて考えるために、市で設定しています。学校では、命の大切さについて考える授業を設定したり、全校朝会にて校長が話をしたりしました。

命は一つしかかけがえのないものです。命を大切にするために必要なことは、危険を予測する力です。つまり、「〇〇したら～こんな危険がある」と想像することが大切です。ご家庭でもどんなことが危険につながるかをお子さんと話し合ってみてください。

- ・道路で遊んだら～
- ・川に入ったら～
- ・棒を振り回したら～
- ・廊下を走ったら～

危険を予測しよう！

自分の命と同じように、友達の命も大切です。自分も友達もかけがえのない命です。自分だけでなく、友達の危険も察知して、行動するように学校でも指導していきます。

以下の詩は全校朝会で紹介した詩です。11歳で亡くなった宮越由貴奈さんは、精いっぱい生き抜きました。



<テレビ放送で朝会を行いました>

### 「命」

宮越由貴奈さん（4年）

命はとても大切だ 人間が生きるための電池みたいだ  
でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる  
電池はすぐに取りかえられるけども 命はそう簡単にはとにかえられない  
何年も何年も月日がたってやっとなんかから与えられるものだ  
命がないと人間は生きられない  
でも 「命なんかいらぬ」と言っただけで命をむだにする人もいる  
まだたくさん命がつかえるのに  
そんな人を見ると悲しくなる 命は休むことなく働いているのに  
だから 私は命が疲れたというまで 精一杯生きよう